



初詣参拝



内緒？

何てお願い事したとね

笑う門には福来る…。
 年明け最初のイベント企画となる初詣へ行って参りました。
 行先は毎年多くの参拝客でにぎわう宮崎市の江田神社。当日は晴天にも恵まれ、お元気に参拝いただきました。皆様どんなお願い事をされたのでしょうか？
 今年も一年、ご利用者様とご家族様が福多い年になりますようゆりの里職員一同、心よりお祈り申し上げます。

インフルエンザ警報発令中

今年は例年にもましてインフルエンザが流行しています。38℃以上の発熱、頭痛や関節・筋肉痛など全身の症状が現れ、特に高齢者のインフルエンザは重症化しやすく、種々の慢性疾患を持つ方は肺炎を伴うなど重症化することがあります。

平成27年度1月30日現在、厚生労働省が発表しているインフルエンザ発生率の資料によりますと、平成27年1月19日から平成27年1月25日までの間、宮崎県のインフルエンザ発生率は全国1位となっています。少しづつ下火になりつつありますがまだまだ油断できない状況です。ゆりの里でも消毒、マスク着用、無用な外出を控えるなど様々な予防策を講じています。

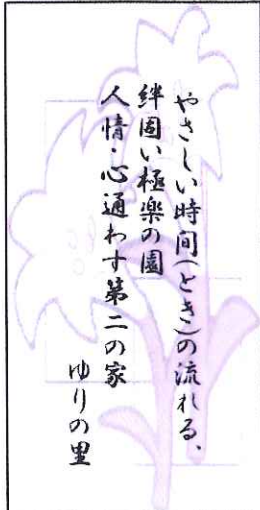


第69号
 平成27年2月

- ・小規模多機能の家
- ・グループホーム
- ・高齢者専用住宅
- ・宅老所きずなの里
- ・訪問介護ゆりの里

住所：
 宮崎市佐土原町下田島
 19658-1
 TEL: 0985-72-0680

URL: <http://care-net.biz/45/yurinosato/>
 (宮崎市ゆりの里で検索可)



やさしい時間(とき)の流れる。
 絆強い極楽の園
 人情・心通わす第二の家
 ゆりの里

認知症シリーズ 第41回

グループホーム ってどんな場所？

グループホームの歴史

介護保険制度には「認知症対応型共同生活介護」通称：グループホームがあります。グループホームは1980年頃にスウェーデンで始まりましたが、日本では80年代後半に紹介されました。特別養護老人ホームなどの大型施設に代わるものとして注目を集め、1990年頃公的制度として取り入れられ、2000年から始まった介護保険制度のサービスに加えられました。2011年現在全国に1万か所近くが存在します。



生活と支援

グループホームの理念は認知症の人が尊重され穏やで家庭的な暮らしを営むことを支援するものです。具体的には個人の行動を束縛することなく、生活様式や価値観を尊重して認知症の人の能力を最大限活用します。炊事、洗濯、掃除、買い物などの日常生活を職員と共同で行います。

グループホームの入居者の定員は9名で各個人に個室が用意されています。施設の中には共同生活の場所としてリビングルームや食堂があります。

職員は日中3人程度、夜は1名が介護にあたります。またグループホームの管理者には介護経験と研修が義務付けられています。

長所と短所

グループホームの家庭的な環境は認知症の方にとっては、認知症が起こす様々な心理面、行動面の症状（不安、情緒不安定、焦燥感、徘徊）が抑えられ、穏やかに生活することができ残された力を発揮しやすいことが経験的に分かっています。しかし大型施設よりも自己負担が重いことや小さな施設という密室性から虐待防止への対策が必要なこと。防火体制や医療との連携が不十分との指摘もなされています。

参考・引用：認知症せんぶ図解（メディカ出版）

お礼とお知らせ

- ご家族様はじめ地域の方々の手作りの野菜、古紙、古布等あらゆる温かいお心遣いに心から厚くお礼申し上げます。
- ゆりの里ではノーマライゼーションを運営方針に掲げ、人が人として生きる日々の生活を大事にする中、身の安全、ゆりの里の御利用者様であることの証として、御利用者様は腕にブレスレットを装着されています。もしも何らかの事態の折には地域の皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- 小規模多機能の家（通い、宿泊、訪問のサービスを自由に組み合わせ、御利用者様の生活に合わせた柔軟の支援を致します）現在、若干の空きがございます。見学・ご相談等承ります。お気軽にお越し下さい。

制作担当：児島、木嶋